

平成23年度事務事業評価表(平成22年度振り返り)

政策名		快適な都市環境が整ったまち		施策番号・名	24	交通安全の推進		基本事業番号・名	24-01	交通安全施設の整備																																																																																																																																																																																	
事務事業番号	所管課係名	事務事業の概要 (根拠法令等、財源、上乗、形態)	事務事業の目的 事務事業の対象、手段(事業内容)、意図	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事務事業全体				一般財源分				全庁評価会議 (24年度に向けた方向性等)																																																																																																																																																																									
	事務事業名			指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	事務事業の方向性、項目別評価 及びその理由等		特定財源に伴う一般財源		一般財源																																																																																																																																																																										
24-01-01	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	交通安全施設 (反射鏡・防護柵等)	平成22年度	6,966 (数)	平成22年度	95 (数)	平成22年度	77 (件)	平成22年度	5,972	平成22年度	2,188	平成22年度	8,160	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 市道利用者を交通事故から未然に防ぐため、老朽化した交通安全施設(道路反射鏡、防護柵等)の補修が必要であり、事務事業としては、今後も存続する必要がある。 財源の一部に交通安全対策特別交付金(H22年度4,943千円、H21年度4,474千円、H20年度3,605千円)を充当している。	平成22年度	1,092	説明欄: 交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 2,433	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度																																																																																																																																																																			
	交通安全施設維持管理事業		手段・内容	道路反射鏡等の破損時においては、現場実査をして業者へ修繕依頼をする。安全管理台帳の整備等をして修繕依頼の迅速な手続きを行った。	交通安全施設数	平成21年度	6,936 (数)	平成21年度	67 (数)	平成21年度	56 (件)	平成21年度	6,038	平成21年度	2,229	平成21年度		8,267	平成21年度		1,564																																																																																																																																																																						
			意図	交通安全施設を適正に管理することにより交通事故を防止する。	交通安全施設数	平成20年度	6,770 (数)	平成20年度	70 (数)	平成20年度	60 (件)	平成20年度	6,038	平成20年度	2,184	平成20年度		8,222	平成20年度		2,433																																																																																																																																																																						
			市民(人口)	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	道路反射鏡・防護柵等の修繕件数	市民よりの要望件数	道路反射鏡・防護柵等の修繕件数	24-01-02	施設管理課 道路河川施設担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	車両・人(通行者)	平成22年度	9,914 (台)	平成22年度	1 (箇所)		平成22年度	3 (箇所)		平成22年度		43		平成22年度	475	平成22年度	518	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄: 施設の設置に当っては、交通量の現状と将来予測を把握することが、交通安全施設の設置を左右するものであり、信号機、横断歩道等を所管警視庁に要望していく中で、今後も存続する必要がある。なお、調査については、外部委託を行っている。	平成22年度	43	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 0	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 0	交通量調査事業	手段・内容	信号機・横断歩道の要望箇所における通過車両を調査し管轄署に要望として提出	交通量調査場所の通過車両	平成21年度	— (台)	平成21年度	— (箇所)	平成21年度	4 (箇所)	平成21年度	0	平成21年度	0	平成21年度	0	平成21年度	0	意図	交通環境の整備(信号機・横断歩道等)	交通量調査場所の通過車両	平成20年度	4,981 (台)	平成20年度	1 (箇所)	平成20年度	1 (箇所)	平成20年度	0	平成20年度	0	平成20年度	0	平成20年度	0	市民(人口)	信号機、横断歩道の設置件数	信号機、横断歩道の設置件数	24-01-03	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市民(道路利用者)	平成22年度	114,772 (人)	平成22年度	155 (箇所)	平成22年度	74.6 (%)	平成22年度	12,682	平成22年度	7,039	平成22年度	19,721	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 交通危険箇所を把握し、対策を講じる必要性のある箇所の抽出など、今後も継続する必要がある。 なお、財源の一部に交通安全対策特別交付金(H22年度6,945千円、H21年度8,150千円、H20年度6,953千円)が充当されている。	平成22年度	5,737	説明欄: 交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 3,265	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 4,690	交通安全施設整備事業	手段・内容	交通安全施設要望に対する現場調査を行い、必要な交通安全施設の設置等の対応をした。道路反射鏡、防護柵、警戒看板等の新設。道路環境、(通学路等)の点検を実施した。	市民(人口)	平成21年度	114,807 (人)	平成21年度	117 (箇所)	平成21年度	70 (%)	平成21年度	11,415	平成21年度	7,170	平成21年度	18,585	平成21年度	3,265	意図	交通安全施設を整えることにより安心して通行できる。	市民(人口)	平成20年度	114,418 (人)	平成20年度	87 (箇所)	平成20年度	68 (%)	平成20年度	11,643	平成20年度	7,025	平成20年度	18,668	平成20年度	4,690	市民(人口)	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	24-01-04	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成22年度	114,772 (人)	平成22年度	0 (基)	平成22年度	0 (件)	平成22年度	0	平成22年度	0	平成22年度	0	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 薄暮帯から夜間において、自動車、オートバイ、自転車の交通災害を未然に防ぐため、事務事業としては、今後も存続する必要があるが、既成しつつあるため、今後は、防犯灯整備を含めたLED事業への転換を図るなど事業の効率化を行う必要がある。 また、事業費の一部に東京都市町村土木補助及び交通安全対策特別交付金(H21年度3,794千円、H20年度5,936千円)を充当している。	平成22年度	0	説明欄: 東京都市町村土木補助、交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 2,823	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 558	道路照明整備事業	手段・内容	交通事故の多発地域の現場調査を行い、照度の低い交差点を中心として照度の改善をした。東京都に設置計画を提出して翌年度の予算化を図った。現場調査、設置手続き調査、都との打ち合わせ、設置工事(委託)現場確認を行った。住民からの要望等に対応した。	市民(人口)	平成21年度	114,807 (人)	平成21年度	56 (基)	平成21年度	227(608) (件)	平成21年度	6,617	平成21年度	6,685	平成21年度	13,302	平成21年度	2,823	意図	薄暮帯から夜間において、ドライバー(自動車、オートバイ、自転車)に対し人影を認識させることで交通事故を未然に防ぐ。	市民(人口)	平成20年度	114,418 (人)	平成20年度	60 (基)	平成20年度	232(621) (件)	平成20年度	6,494	平成20年度	6,550
24-01-02	施設管理課 道路河川施設担当	<input checked="" type="checkbox"/> 自主的 <input type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助有 <input checked="" type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	車両・人(通行者)	平成22年度	9,914 (台)	平成22年度		1 (箇所)		平成22年度	3 (箇所)	平成22年度	43	平成22年度	475	平成22年度	518	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 説明欄: 施設の設置に当っては、交通量の現状と将来予測を把握することが、交通安全施設の設置を左右するものであり、信号機、横断歩道等を所管警視庁に要望していく中で、今後も存続する必要がある。なお、調査については、外部委託を行っている。	平成22年度	43	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 0	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 3 有効性 3 達成度 3 効率性 3 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 0																																																																																																																																																																			
	交通量調査事業		手段・内容	信号機・横断歩道の要望箇所における通過車両を調査し管轄署に要望として提出	交通量調査場所の通過車両	平成21年度	— (台)		平成21年度		— (箇所)	平成21年度	4 (箇所)	平成21年度	0	平成21年度	0	平成21年度		0	平成21年度		0																																																																																																																																																																				
			意図	交通環境の整備(信号機・横断歩道等)	交通量調査場所の通過車両	平成20年度	4,981 (台)		平成20年度		1 (箇所)	平成20年度	1 (箇所)	平成20年度	0	平成20年度	0	平成20年度		0	平成20年度		0																																																																																																																																																																				
			市民(人口)	信号機、横断歩道の設置件数	信号機、横断歩道の設置件数	24-01-03	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市民(道路利用者)	平成22年度	114,772 (人)	平成22年度	155 (箇所)	平成22年度	74.6 (%)	平成22年度	12,682		平成22年度	7,039		平成22年度		19,721	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 交通危険箇所を把握し、対策を講じる必要性のある箇所の抽出など、今後も継続する必要がある。 なお、財源の一部に交通安全対策特別交付金(H22年度6,945千円、H21年度8,150千円、H20年度6,953千円)が充当されている。	平成22年度	5,737	説明欄: 交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 3,265	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 4,690	交通安全施設整備事業	手段・内容	交通安全施設要望に対する現場調査を行い、必要な交通安全施設の設置等の対応をした。道路反射鏡、防護柵、警戒看板等の新設。道路環境、(通学路等)の点検を実施した。	市民(人口)	平成21年度	114,807 (人)	平成21年度	117 (箇所)	平成21年度	70 (%)	平成21年度	11,415	平成21年度	7,170	平成21年度	18,585	平成21年度	3,265	意図	交通安全施設を整えることにより安心して通行できる。	市民(人口)	平成20年度	114,418 (人)	平成20年度	87 (箇所)	平成20年度	68 (%)	平成20年度	11,643	平成20年度	7,025	平成20年度	18,668	平成20年度	4,690	市民(人口)	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	24-01-04	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成22年度	114,772 (人)	平成22年度	0 (基)	平成22年度	0 (件)	平成22年度	0	平成22年度	0	平成22年度	0	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 薄暮帯から夜間において、自動車、オートバイ、自転車の交通災害を未然に防ぐため、事務事業としては、今後も存続する必要があるが、既成しつつあるため、今後は、防犯灯整備を含めたLED事業への転換を図るなど事業の効率化を行う必要がある。 また、事業費の一部に東京都市町村土木補助及び交通安全対策特別交付金(H21年度3,794千円、H20年度5,936千円)を充当している。	平成22年度	0	説明欄: 東京都市町村土木補助、交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 2,823	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 558	道路照明整備事業	手段・内容	交通事故の多発地域の現場調査を行い、照度の低い交差点を中心として照度の改善をした。東京都に設置計画を提出して翌年度の予算化を図った。現場調査、設置手続き調査、都との打ち合わせ、設置工事(委託)現場確認を行った。住民からの要望等に対応した。	市民(人口)	平成21年度	114,807 (人)	平成21年度	56 (基)	平成21年度	227(608) (件)	平成21年度	6,617	平成21年度	6,685	平成21年度	13,302	平成21年度	2,823	意図	薄暮帯から夜間において、ドライバー(自動車、オートバイ、自転車)に対し人影を認識させることで交通事故を未然に防ぐ。	市民(人口)	平成20年度	114,418 (人)	平成20年度	60 (基)	平成20年度	232(621) (件)	平成20年度	6,494	平成20年度	6,550	平成20年度	13,044	平成20年度	558	市民(人口)	道路照明設置基数	道路照明設置基数																																																									
24-01-03	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市民(道路利用者)	平成22年度		114,772 (人)		平成22年度	155 (箇所)	平成22年度	74.6 (%)	平成22年度	12,682	平成22年度	7,039	平成22年度	19,721	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 交通危険箇所を把握し、対策を講じる必要性のある箇所の抽出など、今後も継続する必要がある。 なお、財源の一部に交通安全対策特別交付金(H22年度6,945千円、H21年度8,150千円、H20年度6,953千円)が充当されている。	平成22年度	5,737	説明欄: 交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 3,265	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 4,690																																																																																																																																																																			
	交通安全施設整備事業		手段・内容	交通安全施設要望に対する現場調査を行い、必要な交通安全施設の設置等の対応をした。道路反射鏡、防護柵、警戒看板等の新設。道路環境、(通学路等)の点検を実施した。	市民(人口)		平成21年度		114,807 (人)	平成21年度	117 (箇所)	平成21年度	70 (%)	平成21年度	11,415	平成21年度	7,170	平成21年度		18,585	平成21年度		3,265																																																																																																																																																																				
			意図	交通安全施設を整えることにより安心して通行できる。	市民(人口)		平成20年度		114,418 (人)	平成20年度	87 (箇所)	平成20年度	68 (%)	平成20年度	11,643	平成20年度	7,025	平成20年度		18,668	平成20年度		4,690																																																																																																																																																																				
			市民(人口)	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	道路反射鏡・防護柵等の設置及び修繕数	24-01-04	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成22年度	114,772 (人)	平成22年度	0 (基)	平成22年度	0 (件)	平成22年度	0		平成22年度	0		平成22年度		0	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 薄暮帯から夜間において、自動車、オートバイ、自転車の交通災害を未然に防ぐため、事務事業としては、今後も存続する必要があるが、既成しつつあるため、今後は、防犯灯整備を含めたLED事業への転換を図るなど事業の効率化を行う必要がある。 また、事業費の一部に東京都市町村土木補助及び交通安全対策特別交付金(H21年度3,794千円、H20年度5,936千円)を充当している。	平成22年度	0	説明欄: 東京都市町村土木補助、交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 2,823	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 558	道路照明整備事業	手段・内容	交通事故の多発地域の現場調査を行い、照度の低い交差点を中心として照度の改善をした。東京都に設置計画を提出して翌年度の予算化を図った。現場調査、設置手続き調査、都との打ち合わせ、設置工事(委託)現場確認を行った。住民からの要望等に対応した。	市民(人口)	平成21年度	114,807 (人)	平成21年度	56 (基)	平成21年度	227(608) (件)	平成21年度	6,617	平成21年度	6,685	平成21年度	13,302	平成21年度	2,823	意図	薄暮帯から夜間において、ドライバー(自動車、オートバイ、自転車)に対し人影を認識させることで交通事故を未然に防ぐ。	市民(人口)	平成20年度	114,418 (人)	平成20年度	60 (基)	平成20年度	232(621) (件)	平成20年度	6,494	平成20年度	6,550	平成20年度	13,044	平成20年度	558	市民(人口)	道路照明設置基数	道路照明設置基数																																																																																																																						
24-01-04	施設管理課 道路河川施設担当	<input type="checkbox"/> 自主的 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的 <input type="checkbox"/> 努力義務的 (国) 道路法 財源 <input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助有 <input type="checkbox"/> 市全額 上乗 <input type="checkbox"/> 市独自上乗せ(上乗・横出) 事業形態 <input type="checkbox"/> 直営(委託無) <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・助成金 <input type="checkbox"/> その他()	対象	市内の道路利用者(車両・歩行者)	平成22年度		114,772 (人)		平成22年度	0 (基)	平成22年度	0 (件)	平成22年度	0	平成22年度	0	平成22年度	0	24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 説明欄: 薄暮帯から夜間において、自動車、オートバイ、自転車の交通災害を未然に防ぐため、事務事業としては、今後も存続する必要があるが、既成しつつあるため、今後は、防犯灯整備を含めたLED事業への転換を図るなど事業の効率化を行う必要がある。 また、事業費の一部に東京都市町村土木補助及び交通安全対策特別交付金(H21年度3,794千円、H20年度5,936千円)を充当している。	平成22年度	0	説明欄: 東京都市町村土木補助、交通安全対策特別交付金を除いた額 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 2,823	平成22年度	説明欄: 平成22年度 24年度以降に向けた方向性: 現状維持 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 所管課長 施設管理課 古澤 毅彦 平成21年度 説明欄: 平成20年度 558																																																																																																																																																																			
	道路照明整備事業		手段・内容	交通事故の多発地域の現場調査を行い、照度の低い交差点を中心として照度の改善をした。東京都に設置計画を提出して翌年度の予算化を図った。現場調査、設置手続き調査、都との打ち合わせ、設置工事(委託)現場確認を行った。住民からの要望等に対応した。	市民(人口)		平成21年度		114,807 (人)	平成21年度	56 (基)	平成21年度	227(608) (件)	平成21年度	6,617	平成21年度	6,685	平成21年度		13,302	平成21年度		2,823																																																																																																																																																																				
			意図	薄暮帯から夜間において、ドライバー(自動車、オートバイ、自転車)に対し人影を認識させることで交通事故を未然に防ぐ。	市民(人口)		平成20年度		114,418 (人)	平成20年度	60 (基)	平成20年度	232(621) (件)	平成20年度	6,494	平成20年度	6,550	平成20年度		13,044	平成20年度		558																																																																																																																																																																				
			市民(人口)	道路照明設置基数	道路照明設置基数																																																																																																																																																																																						